

第37回名古屋クラシックフェスティバル 公演内容

世界三大オーケストラのウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管が登場！ ソロ・アーティストでは“ヴァイオリンの女王”アンネ=ゾフィー・ムターに、ピアノの巨匠マルタ・アルゲリッチのリサイタル！ かつてない、史上最高級のラインナップで贈るクラシック音楽・舞台芸術の祭典、第37回名古屋クラシックフェスティバルをお見逃しなく！

公演名	内容
酒井茜 & マルタ・アルゲリッチ ピアノデュオ・リサイタル	ピアノの“神”が、降臨する！ 世界のクラシック音楽界で最も高い評価を受けるピアニストの一人、マルタ・アルゲリッチ。最近、日本での演奏が少なく、非常に貴重な機会。名古屋クラシックフェスティバルには、名手フレイレとのピアノ・デュオ以来、16年ぶりの登場！ デュオの相手は、ギトリスやクレメルとの共演もあり、アルゲリッチとの「春の祭典」を含む2台ピアノのCDもリリースしている酒井茜。
ピアノの神、降臨。 レザール・フロリサン ヘンデル：オラトリオ「メサイア」 音楽監督・指揮：ウィリアム・クリスティ	バロック・オペラや器楽・声楽曲の巨匠と呼ばれるウィリアム・クリスティ率いるレザール・フロリサンは、設立40周年を迎えるこのジャンルの頂点といえる存在。よく演奏されるヘンデルの「メサイア」を、こうした超一流の外来オーケストラと合唱団で聴けるのは、意外に貴重で稀少。あの有名な“ハレルヤ・コーラス”が、天に響く！
“ハレルヤ”コーラスが天にまで響く！ セシヨン・ビシュコフ指揮 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団	1世紀以上にわたって、チェコ文化を代表する存在であり続け、その温かく美しい響きで世界中の聴衆を魅了しているチェコ・フィル。今回のプログラムは、ビシュコフがもっとも愛し得意とするチャイコフスキーの作品から、交響曲第5番と、チェコ・フィルでもっとも聴きたいプログラム、“モルダウ”を含むスメタナの「わが祖国」。ドヴォルザークの「新世界」と並ぶ、チェコ、そしてチェコ・フィルを代表的する名曲で、しっかりとオーケストラ音楽を楽しむプログラム。
温かく美しい伝統の響き トリエステ・ヴェルディ歌劇場「椿姫」 ソプラノ：デジレ・ランカトーレ	ミラノ・スカラ座ほか名だたる劇場がひしめくオペラ大国イタリアから、トリエステ・ヴェルディ歌劇場が来日する。1801年創設、オペラ王ヴェルディの名を冠することを許された最初の劇場であり、政府から直接の援助を受けているイタリアが誇る13歌劇場のひとつ。演目は、オペラ名作中の名作「椿姫」。イタリア随一のプリマ、デジレ・ランカトーレが素晴らしいヴィオレッタを演じます。乞うご期待！
ヴェルディ「椿姫」の真骨頂！ ウィーン・フィルハーモニー ウィーク イン ジャパン 2019 ダイワハウス スペシャル クリスティアン・ティーレマン指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 ～日本オーストリア友好150周年記念～	ウィーン・フィル2019年日本公演の指揮者は、毎年恒例の、ウィーン楽友協会を舞台におこなわれるニューイヤー・コンサートで今年の指揮を務めたクリスティアン・ティーレマン。パイロイト音楽祭、夏のザルツブルク音楽祭で活躍、ウィーン・フィルとの共演も多く、世界中の歌劇場やオーケストラから高い評価を受ける、まさにドイツの正統を受け継ぐ実力派。世界のオーケストラの頂点を究めた演奏を堪能できる公演です。
ウィーン・フィルがやってくる！ パーヴォ・ヤルヴィ指揮 ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団 ピアノ：ラン・ラン	ウィーン・フィル、ベルリン・フィルと並び称される世界三大オーケストラのひとつ、コンセルトヘボウ管。弦楽器は「ピロードのよう」、金管楽器は「黄金の響き」、木管楽器の音質は「際だって個性的」と称賛されるこのオーケストラを構成するのは、20以上の国から選りすぐられた120人の楽員たち。大編成であるにも関わらず繊細なことは室内オーケストラ並み、一人一人の力量の高さと楽員相互の深い信頼感で音楽を作り上げます。ヤルヴィの指揮とラン・ランのピアノも楽しみです。
世界三大オーケストラの雄！ アンネ=ゾフィー・ムター ヴァイオリン・リサイタル	クラシック界の帝王カラヤンが愛した、現代最高のヴァイオリニストのひとり。彼女の演奏には多彩な音色、完璧な技巧、卓越した表現力、豊かな音楽性全てが備わっているといわれます。数多くの著名指揮者、オーケストラと共演し、室内楽・現代音楽あらゆる分野で輝かしい実績を誇るアンネ=ゾフィー・ムターはまさに“ヴァイオリンの女王”と呼ばれるにふさわしい存在。女王の手になる名曲の演奏で、ベートーヴェンの音楽、そしてヴァイオリンの魅力を改めて感じる公演になるでしょう。
“ヴァイオリンの女王”	